

ราชพฤกษ์

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールドデンシャワーをタイ語で表現したものです。

バンコク日本人学校長 谷口 幸一郎

新しい運動会への取り組み

「ピヨピヨちゃん、こんなこと、こんなことができますか?」「こんなこと、こんなことができますよ。」1年生のミニ運動会の準備運動の様子です。子供たちが知らず知らずの間に、楽しく運動をしている姿に、学年の工夫が感じられました。中学生「ブロック演技披露会」、6年生「Bansuke、逃走中、未来への号砲」5年生「バンコクン体操、全員リレー、綱引き」4年生「ソーラン節2020、竹取物語、大玉転がし」3年生「泰風レオレオ、大玉転がし、三線の花・ダイナミック琉球」2年生「くねくねスラローム、ハイパー玉入れ、50m走」1年生「おむすびコロリン、ダンシング玉入れ、リズムダンス」。いずれの学年も短い期間に仕上げ、素晴らしい演技披露をして



くれました。「**子供が運動に親しみ、楽しさを味わえるようにするとともに体力の向上を図る。**」という運動会の本来の目的が十分に達成できました。家庭にも該当学年の様子が映像配信されていると思いますので、改めて子供たちの努力の結集をみてあげてください。通常とは異なる形で実施された運動会ではありましたが、逆に子供たちの姿から、子供たちの適応力やたくましさを実感することができました。

子供たちが生きていく未来は、今回の運動会のように予測困難でこれまでの経験したことない状況が出てくる
ことが予想されます。どのような状況になっても、**過去を振り返らず、できることを考え、前向きに行動する力**が求められています。長く生きてきた大人はややもすると過去にとらわれ、現在や未来に過去を求めます。しかし、子供は過去が少ないため、現在や未来を自ら作っていくのです。今回、子供たちが行った運動会はまさにこれからの運動会の形であり、未来につながるものだと思います。合わせてくれました。「**子供は未来**」なのです。来年の運動会がどのような形で行われようとも、バンコク日本人学校の子供たちは、きっとその状況に応じた素晴らしいものを披露してくれるものと確信しました。



どの子の作品も素晴らしい

先日、3年生の版画の作品のいくつかを見せてもらいました。驚いたことに、ほとんどの作品の**被写体が大きく描かれています**。中には画面からはみ出している作品もありました。以前、岡本太郎氏の言葉「見るものが『なんだ、これは?』と思わなければ意味がない。」を紹介させていただきましたが、まさに「なんだ、これは?」です。子供たちが**伸び伸びと絵を描き、楽しんでいる様子**が覗えます。

早速、それらの作品を縮小コピーし、校長室に掲示しました。今後、子供たちの目につくように校長室の入口に掲示することで、子供たちの励みになればと考えています。また、先日来校された大使館の医務官や領事部長にも作品を紹介したところ、子供たちの頑張りに感心していました。



今のところ、小学3年生と中学生の作品を校長室に掲示してありますが、作品を順次入れ替えて、できるだけ多くの作品を校長室前に展示し、子供たちに紹介したいと考えています。

細貝選手よりボール等、寄贈



先日、元サッカー日本代表で、現在バンコクのチームに所属しているプロサッカー選手、細貝選手が本校を訪れ、ボール寄贈をしたいとの申し出がありました。コロナ禍でなければ、簡単なサッカー教室も行いたいと話されていましたが、感染予防策を講じながら、代表の子供たちにボールを渡す形で、贈呈式を行うことになりました。

校長室でお話を伺い、何よりも**細貝選手の人柄に魅力**を感じました。著名な選手が学校や地域に対して、スポーツ教室を開いたり病院を訪問したりするなど、地域貢献活動をする話はよく耳にします。逆に一流選手にはこれらの活動が求められているのも現状です。そのようなことから、この話を伺った時に、単純に本人のプロモーションの一環だろうと考えていました。

「全学級数、およそ100個のボールにサインをいただけますか？」と尋ねると「全然、大丈夫ですよ。」という答えが返ってきました。この返事からも分かるように、細貝選手が真剣に子供たちのために何かをしてあげたいのだという気持ちが伝わりました。話の内容も自分のことは一切語らず、学校や子供たちのことを尋ねてきました。また、学校からの説明や要望に対しても真剣に耳を傾け、帰り際には子供たちが遊んでいる様子も見ていかれました。とにかく、**相手に合わせて話を聞くことのできる態度（傾聴する力）**に驚きました。（私の会った有名人は、プライドばかりが高く、自分のことしか話さない人が多かった気がします。）

結局、すべてのボールにサインすると使えなくなるので、100個のサインボールはなくなりましたが、子供一人一人に対して、**文房具、カットパン、飲料水の3つ**をいただけることになりました。本当にありがとうございます。

子供たちの遊び

空き時間に定規を使って「突き出し」遊び（鉛筆などを定規に押しつけ、定規を飛ばし、相手の定規を机から押し出す遊び）をやっている3、4年生がいます。学校に持ってくることのできる道具を使って考えた遊びです。自分たちでルールを作ってする遊び、昔も同じようにやっていました。「鬼ごっこ」「かくれんぼ」「けいどろ」「けんけん」道具がなくてもできる遊び、「あやとり」「けん玉」「だるま落とし」など簡単な道具を使って行う遊び、どんな遊びでも子供の成長には欠かせないものだと思います。



先日、5年生と一緒に「チャーム臨海学校」に行ってきました。ホテルの敷地内ではありましたが、タイの自然を感じることでできる環境の下、浜辺の砂を使った造形遊び、オリエンテーリング、ナイトウォークなど、楽しい活動ができました。

一方で、周りにある自然、**花や植物、魚や昆虫、星などに関心を示す子供が少なかった**気がします。また、波の立っている海を見て、「こんな海、初めて見た。」という子供がいるなど、子供たちが自然の中で遊ぶ機会が少ない中で育ってきていることも分かりました。特に今はコロナの影響で子供たちが家の中にいることが多くなっています。少しでも外に出る機会があったら、大人が意図的に子供たちに語りかけてください。（家の草花の名前を教えたり、鳥の声を聞かせたり、トンボや蝶に気づかせたりするなど、大人が気付いた時に子供に声をかけてあげる。）また、小旅行をする時は是非、様々な所に連れて行き、思い切り自然に触れさせてあげてください。きっと多くのことを学んでくれると思います。

